

TECO

TECHNOLOGY & ECOLOGY

Vol.1

ボルボの考える**安全性**

世界屈指の自動車メーカー、VOLVOの創業は1927年。以来、「車は人のもの」という哲学のもと、安全にこだわり続けた。

象徴的なエピソードがある。今でこそ自動車に標準搭載されている「三点シートベルト」は、もともとはVOLVOが開発したものだ。しかし、VOLVOはこの技術の特許を無償公開し、他メーカーが使用することを許した。「この決断によって年間100万人も命が救われているといわれています」(佐野さん)

また、あえて180km/hという速度リミッターを設定したのも、「交通事故をゼロにしたい」という願いからだ。



オゾン空気清浄機 DUO とボルボ車。
両社の共通は「人の安全・安心」である。

近年の安全への取り組みとして

は、環境への配慮から内燃機関だけの自動車は廃止し、ハイブリッドやEV(電気自動車)への転換を図る。2030年にはすべてのVOLVO車を電動化すると発表した。地球にやさしい車は人間にもやさしいという、これはまさにVOLVOの哲学と合致する。

「コロナ禍で私たちの価値観が大きく揺らぎ、人と車との関係もこれまでとは違ったものになりつつあります。それでも、安全な車を作り続けるというVOLVOの姿勢は変わらないと思います」(佐野さん)

車メーカーのVOLVOと、オゾン製品を扱うタムラテコ。ジャンルは違えど、安全・安心に対するこだわりの強さは変わらない。まさに両者の共通点といえるかもしれない。

タムラテコ社とは…

オゾン機器を開発・製造・商品化している。

オゾンを活用したテクノロジーとエコロジーの精神のもと、『**オゾンのテクノロジーをもっと多くの人にもっと便利にスタンダードに**』をスローガンに、品質第一主義を徹底し、何事にも諦めず創意工夫の努力・精進を行い、産業人としての使命を果たし、社会に貢献し、利潤の維持増大を図り、会社発展と従業員一同の生活の向上を目的とする。

フリーダイヤル：
0120-038-904

〒577-0012
大阪府東大阪市長田東
2-1-33 長田平成ビル4F
TEL：06-4309-1350
FAX：06-4309-1360
E-mail：info@teco.co.jp
URL：http://www.teco.co.jp



TECO
TECHNOLOGY & ECOLOGY
株式会社タムラテコ





新型コロナウイルス 感染対策

ボルボ青山としての試み

「お客さまとお客さまの大切な人たち、そして従業員を守る」というVOLVOの基本的なスタンスは、新型コロナウイルス感染症の真つ只中にある今も何一つ変わらな

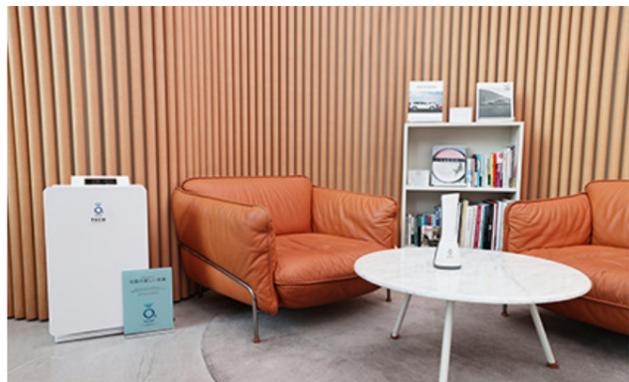
ない。日本で最初に緊急事態宣言が出された昨年4月には、VOLVOは「お客さまとお客さまの大切な人たち、そして従業員を守る」というVOLVOの基本的なスタンスは、新型コロナウイルス感染症の真つ只中にある今も何一つ変わらな

（佐野さん）



ポスターのパネルを手に取材に応じてくださる佐野さん。

ゆったりした居心地を演出。カフェテーブルにはオゾン水スプレー。(Lくりん minnie) 水とおなじ感覚で手指・机上などが消毒できる。左端：BT-180H



手前はセムラ。スウェーデンの国民的スイーツ。カルダモンの香る天然酵母パンに生クリームとエスプレッソシロップがコーティングされている。奥は、バッグに入れて持ち運べるオゾン空気清浄機 DUO。



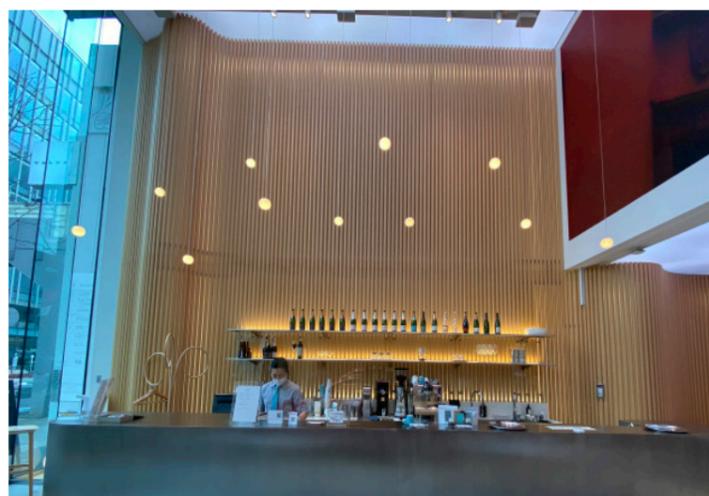
ボルボスタジオ青山 とは？

246 青山通り沿いからのファサード。美しくボルボのロゴが目を引く。



表参道駅から徒歩5分。青山通り沿いにある「ボルボスタジオ青山」は、2017年に伊・ミラノに次いでオープンしたVOLVOのブランドコンセプトストアだ。「20世紀の北欧を代表する建築デザインであるアルヴァ・アアルトのデザインを採用しました。細くて丸い木を並べた曲線の壁は本社のあるスウェーデンの森を、床は西海岸にあるヨードボリの岩礁をイメージしています」と話すのは、ボルボスタジオ青山スタジオディレクターの佐野佳子さん。ガラス張りであるスタジオにはカフェが併設され、誰でもコーヒーやケーキを楽しめる。車好きはもちろんのこと、表参道を訪れる人たちのくつろぎの空間にもなっている。

本格的なカフェバーを展開。自然光と壁面の木の美しさに青山の空気を楽しめそうだ。



オゾン空気清浄機を 設置して 思ったこと

設置して 思ったこと

ボルボスタジオ青山では、安全・安心な空間作りにおける感染対策への取り組みの一つとして、タムラテコ社のオゾン空気清浄機BT-180H、オゾン除菌脱臭機Space Clean Duo、オゾン水スプレーLくりん minnie を店内に設置している。低濃度オゾンガスの新型コロナウイルスに対する不活化効果（感染性を失わせる効果）は、2020年に藤田医科大学（愛知県豊明市）の村田貴之教授（専門はウイルス・寄生虫学）によって実証されている。低濃度オゾン水についても同様に、村田教授が不活化作用を確認した。

佐野さんはこうした感染対策機能に加え、製品のデザイン性を評価する。「北欧の家具や日用品を見るとわかりますが、往々にして機能と美しさ

を兼ね備えているデザインが多い。家電も同じです。なぜなら、そこは寒い地域なので家で過ごす時間がどうしても長くなります。おうち時間を快適に過ごすために、機能だけでなく美しさやデザインも重視しているのです」

「ボルボスタジオ青山に設置しているタムラテコ社の製品は、どれもデザインがスッキリしておしゃれです。どこに置いても目立ちすぎないところが、お客さまの空間を邪魔しすぎないというボルボスタジオ青山のデザインコンセプトにも通じています」

コロナ禍で自宅時間が増えている状況は、「まさに北欧の過ごし方に通じる」と佐野さん。機能とデザイン性を兼ね備えた家電は、スタジオ青山が目指したように、多くの人たちの目にとまるのではないかと話す。